

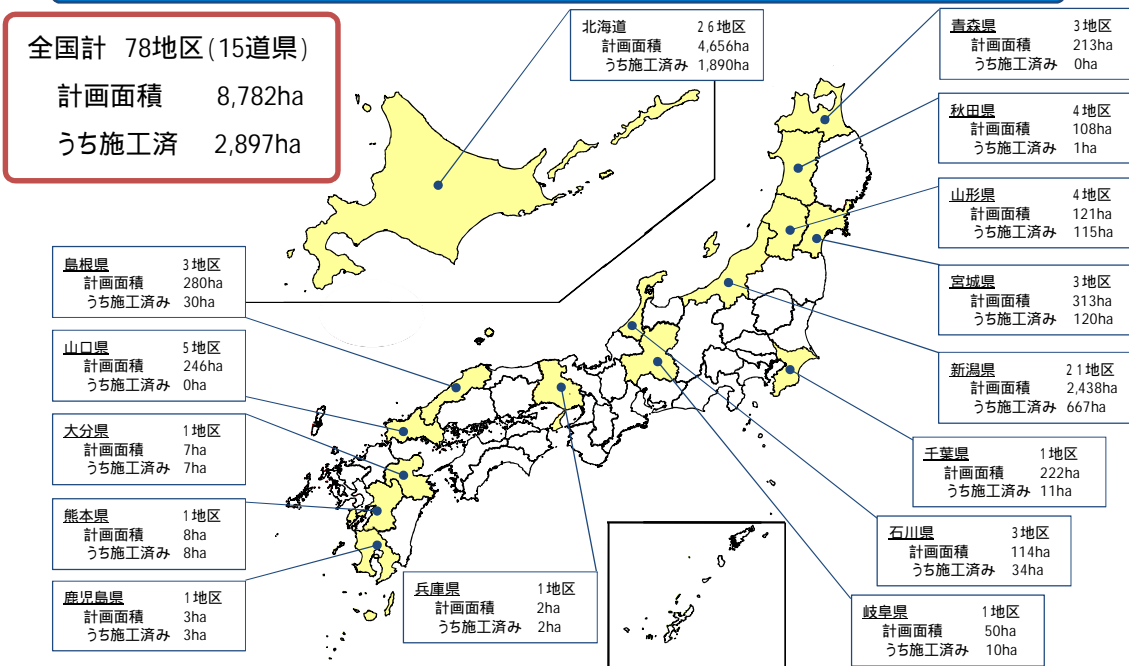
地下かんがいの導入状況について

暗きょ排水と地下かんがいを両立した低コストな地下水位制御システムの導入により、地下水位の調整が自在にできるようになり、水管理の大幅な省力化と単収増による生産性の向上を実現。
 地下水位制御システムの整備は、平成22年度時点で全国78地区において実施中。個別地区全体の計画面積(約9千ha)のうち3割の約3千haで既に施工済みで、水田汎用化に寄与。

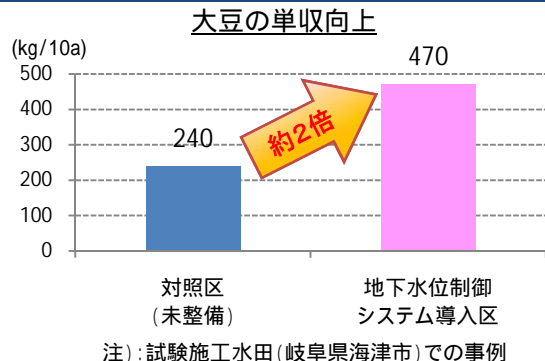
地下水位制御システムの概要



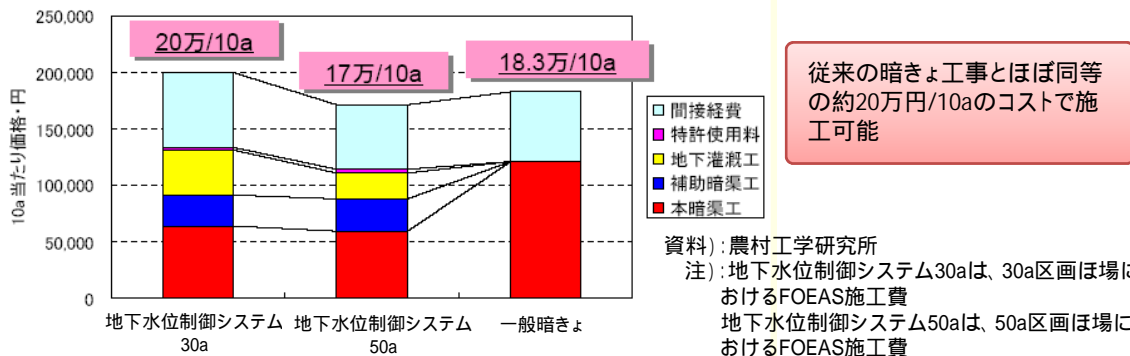
地下水位制御システム施工実績(経営体育成基盤整備事業) H23.3月調べ



地下水位制御システムによる増収効果



地下水位制御システムと一般暗きょの10aあたり施工価格



【事例】国営農地再編整備事業 中樹林地区

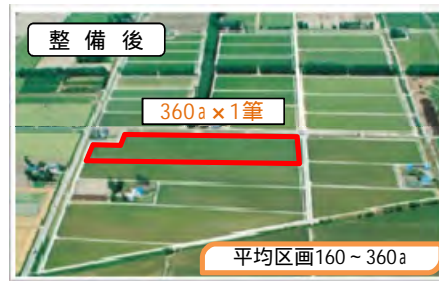
ほ場の大区画化と併せて地下水位制御システムを導入し、労働時間及び生産コストを低減。地下水位制御システムの導入により、畑作の導入が円滑に進められ、野菜等の高収益作物の作付けが増加。特に、北海道有数の産地となったキャベツは、特産品として加工販売を行う等、地域の活性化に貢献。

【国営農地再編整備事業「中樹林地区」の事業概要】

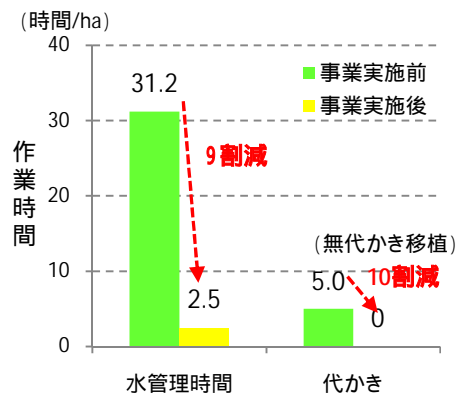
関係町村: 北海道 空知郡 南幌町
 事業工期: 平成12年度～平成20年度
 受益面積: 757ha (区画整理、開畑)



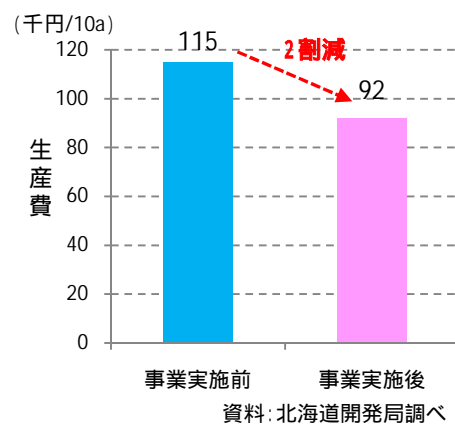
国営農地再編整備事業によって、ほ場の大区画化と開畑を一体的に施工するほか、地下水位制御システムを導入し、水田の汎用化により生産性の高い水田農業を実現。



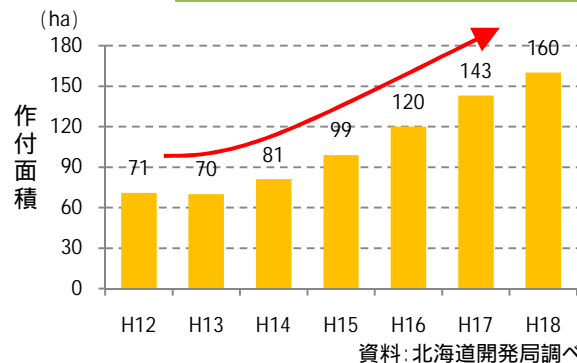
水管理作業の省力化



水稲における生産費の削減



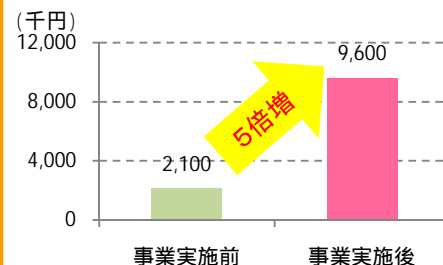
キャベツの作付面積の推移 (南幌町)



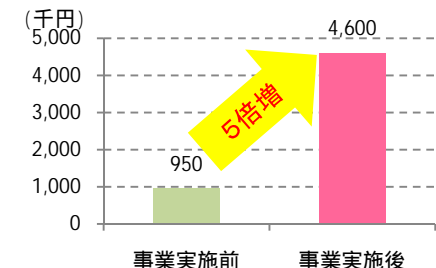
キャベツの収穫作業

事業を契機とした地域の活性化

キャベツキムチ販売量



加工センターの雇用額



- ・ 転作野菜として作付けしてきたキャベツの付加価値向上を目的に「キャベツキムチ」を製造。
- ・ 事業を契機に、加工センターで生産される「キャベツキムチ」の販売量は約5倍に増加。
- ・ 販売量の増加に伴い、加工センターにおける雇用額も約5倍に増加。



キャベツキムチの製造

資料: 北海道開発局調べ

注1: キャベツキムチ販売量は、全体の販売量のうち中樹林地区のキャベツ生産量に相当する年間の販売量。

注2: 加工センターの雇用額は、総人件費のうち中樹林地区のキャベツ生産量に相当する年間の人件費